木更津工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	英語ＩB

科目基礎情報

科目番号	0013	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	『New Rays English Communication I』／『New Rays English Communication I WORKBOOK Standard』／『COCET2600 理工系学生のための必修英単語2600』／『EARTHRISE 総合英語』		
担当教員	岩崎 洋一,小川 祐輔		

到達目標

英語の発音
・英語のつづりと音との関係を理解できる。
・英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。
語彙
・中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、500語程度の語彙を新たに習得する。
・自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。
文法事項及び構文
・中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。
・高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。
読み書きを通して行うコミュニケーション
・毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。
・自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 音読	英語のつづりと音との関係を理解でき、英語の発音記号を見て、発音できる。	英語のつづりと音との関係をほぼ理解でき、英語の発音記号を見て、ほぼ発音できる。	英語のつづりと音との関係を理解できず、また、英語の発音記号を見ても発音できない。
評価項目2 語彙力	中学で既習の1200語程度の語彙が定着しており、500語程度の新たな語彙を習得している。自分の専門に関する基本的な語彙も習得している。	中学で既習の1200語程+B7度の語彙がほぼ定着し、500語程度の新たな語彙の習得がほぼできている。自分の専門に関する基本的な語彙もほぼ習得している。	中学で既習の1200語程度の語彙の定着が見られず、500語程度の新たな語彙の習得もできない。自分の専門に関する基本的な語彙も習得できない。
評価項目3 文法的知識、英文読解	中学校で既習の文法事項や構文が定着しており、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文が習得できている。	中学校で既習の文法事項や構文がほぼ定着しており、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文がほぼ習得できている。	中学校で既習の文法事項や構文が定着しておらず、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文が習得できていない。

学科の到達目標項目との関係

準学士課程 3(2)

教育方法等

概要	・正確な英語の読解力を養成するため、各 Chapterにつき、単語・熟語・文法事項等を総合的に学習していく。 ・英語IIBと平行して『COCET 2600』の「単語番号No.501～1000」の500語の修得を目指し、語彙力のアップを図る ・「実用英検３級一次試験に合格できる英語力」が、単位認定の「目安」となる。
授業の進め方・方法	・正確な読解力を養うため、ワークブックも使用しつつ授業を進めていく。 ・授業の冒頭で、『COCET 2600』の単語テストを次のような範囲で行う。 ・中間試験および定期試験においても、同範囲で『COCET 2600』から出題する。 後期中間試験(まで)：単語番号 0501～0750 (250語)　単語テストは「50語／回」× 5 回 後期定期試験(まで)：単語番号 0751～1000 (250語)　単語テストは「50語／回」× 5 回
注意点	・常に「100%正確に英文を理解する」ことを心掛け、細かな点も決しておろそかにしないこと。 ・授業に臨む前に、予習として以下の三点を行っておくことが望ましい。 （１）新出の単語や熟語の意味を確認する （２）本文を一通り自分なりに訳してみる （３）分からない文法事項にチェックを入れる ・配布資料等の整理およびファイルのため、「Ａ４判・40ポケット以上」のクリアブックを各自で用意すること。 ・評価は「中間試験と定期試験：60% + 『COCET 2600』の小テスト：20% + 課題：20%」で行う。 ・中間試験および定期試験は100点満点で実施する。その構成は、80点が単語・熟語・文法事項・読解等に関する総合的な問題、20点が『COCET 2600』からの出題となる。 ※ 授業計画等に変更が生じた場合には、授業の中で「修正シラバス」を示す。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	Chapter 6 The Voice of Children	教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、文型や文法事項を身につける。（MCC）
		2週	Chapter 6 The Voice of Children	教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、文型や文法事項を身につける。（MCC）
		3週	Chapter 7 Human Habitation on Mars	教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、文型や文法事項を身につける。（MCC）
		4週	Chapter 7 Human Habitation on Mars	教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、文型や文法事項を身につける。（MCC）
		5週	Chapter 8 A Loving Story	教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、文型や文法事項を身につける。（MCC）
		6週	Chapter 8 A Loving Story	教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、文型や文法事項を身につける。（MCC）
		7週	復習等	第６週までの進度や学習状況に鑑み、補足や復習等を行う。（MCC）

		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	Chapter 9 Edo, the Resilient City	教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、文型や文法事項を身につける。（MCC）
		10週	Chapter 9 Edo, the Resilient City	教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、文型や文法事項を身につける。（MCC）
		11週	Chapter 10 A Quality Education for All	教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、文型や文法事項を身につける。（MCC）
		12週	Chapter 10 A Quality Education for All	教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、文型や文法事項を身につける。（MCC）
		13週	Reading Passage 2 The Tale of the Three Brothers	教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、文型や文法事項を身につける。（MCC）
		14週	Reading Passage 2 The Tale of the Three Brothers	教科書の内容を理解し、単語や熟語を覚え、併せて、文型や文法事項を身につける。（MCC）
		15週	後期定期試験	
		16週	答案返却・解答と解説	

評価割合

	試験	COCET 2600	課題	合計
総合評価割合	60	20	20	100
基礎的能力	60	20	20	100